

# 卒業研究概要

成績：

提出年月日 2008 年 2 月 1 日

卒業研究課題 web 上のイベント意思決定支援システムの開発	
学生番号 B04-079	氏名 下藤 愛
概要	指導教員 神田 智子 准教授 印
<p>2 名以上のグループが同時刻に指定された場所に集合し、会議や宴会といったイベントを開催することがある。グループ内でイベントを開催するにあたって、日程調整や開催場所、1 人あたりの費用等の必要事項を次に述べるように決定する必要がある。(1)グループ内全員の予定や要望を集計し決定する人間（以下、幹事）と幹事に自身の予定や要望を連絡する必要がある人間（以下、参加者）をグループ内で分担する。(2)幹事は参加者とのやりとりすることで、グループ内全員の予定や要望の収集する。(3)幹事は収集した予定や要望の集計を取り、集計結果から必要事項を決定する。しかし、必要事項を決定するまで幹事と参加者のやりとりは幹事にとって負担である。参加者が多ければ多いほど、幹事が各参加者とのやりとりの回数は増加するため幹事の負担が増大する。</p> <p>先行研究において、幹事の負担を軽減するため、グループ内の日程調整を計算機で支援する研究がなされている[1][2][3]。また、web とメールを連携させることで幹事の負担が軽減されることが実証されている[2]。さらに、実際に運用されているシステム[3]を利用したユーザヒアリングにより、運用システムはイベントの日程調整のみ支援する機能しか考慮されておらず、支援 web ページのデザインによって参加者の予定入力を怠ってしまい、幹事が正しい集計結果が得られない、web フォームの設計によって参加者の要望の提示方法が制限され、曖昧な表現や自由表記ができない等の改善点があることが明らかになった。</p> <p>本論文では、参加者の未入力を発生させない支援 web ページの提示方法を実装するとともに、参加者の要望を曖昧な表現や自由表記で提示可能にし、より幹事の負担を軽減できるイベント意思決定支援システムの設計・実装および評価について述べる。</p> <p>本研究の支援システムは web とメールと連携して利用することによって幹事の負担を軽減する。幹事は専用の HTML ページに必要な項目を入力することによって、スケジュール調整ページの自動生成される。生成されたスケジュール調整ページの URL をメールでグループ内全員に知らせ、グループ全員に予定入力やコメント入力を行ってもらう。スケジュール調整ページでは参加者全てのスケジュール予定、予定の集計結果や各自のコメントを一覧でき、幹事に開催日程や場所などの決定の支援が可能である。また、ボタンやリンクの配置を考慮してデザイン設計を行った。スケジュールはクリックのみで入力可能で 1 日ごとに 3 種類(参加可, 参加不可, 条件付き参加可能)のうち 1 種類の提示ができる。これらの機能を実現するため、動的な HTML ページを開発するにあたり、Ajax(Asynchronous JavaScript + XML)を利用している。</p> <p>本システムを実際に利用してイベントの準備を行った幹事からユーザヒアリングを行った結果、幹事と参加者とのメールのやりとりが減少した、開催日程の決定に必要な集計の手間を省くことで、幹事の負担を軽減できたというコメントが得られた。</p> <p>幹事の負担を軽減するイベント意思決定支援システムを改良するにあたり、調整期間の選択肢を増やす、予定入力の誤入力防止策や調整日集計結果から候補日を提示可能にすることを検討する等の機能を充実させることで、さらに幹事の負担が軽減できると思われる。また、本システムはパソコンからの利用を考慮しているが、携帯電話からの利用も可能にすると、利便性が向上すると期待している。</p>	
参考文献	
[1] 菊野亨, 吉田典可, 杉原一夫, 会議スケジュール自動調整: 情報処理学会誌, Vol.26, No.3, pp.205-212, 1985.	
[2] 乃村能成, 谷口秀夫, 幹事の負担を軽減する会議日程調整支援システム: 情報処理学会 マルチメディア・分散・協調とモバイル(DICOMO 2003)シンポジウム 論文集, pp.737-740(2003.6), 2003	
[3] Pollan <a href="http://hp.pollan.jp/">http://hp.pollan.jp/</a>	